

令和2年10月14日

農 林 水 産 部

AI・IoT技術の導入で唐津Qサバの養殖効率化を目指します

概要

遠隔操作可能な給餌機^{きゅうじき}や水中カメラを漁場に導入することによって、Qサバの生残率向上・給餌効率の向上による低コスト化・早期生育などを目指します。

1 導入する技術について

- ・スマート給餌システム（給餌機）
- ・生簀モニタリングシステム（水中カメラ）
ウミトロン（株）製

2 設置日

10月19日（月）、20日（火）

3 設置場所

唐津Qサバ生産者の海上いけす（3箇所）

4 その他

この事業は、九州大学農学研究院および宮崎大学農学部と共同で取り組んでいる「完全養殖マサバの生産拡大と海外輸出のための戦略的育種・生産基盤の開発」（生物系特定産業技術研究支援センターが行う「令和2年度イノベーション創出強化研究推進事業」の採択を受けて実施）の一環で行っています。

給餌機



（本件の問い合わせ先）

水産課

担当：草場

電話：直通 72-9130（内線 2433）